

2022年9月21日

2022年 資源・環境関連材料部会第4回討論会 開催報告

討論会担当 前田浩孝

◎日時 2022年6月30日(木) 12:55~17:40

◎主催 公益財団法人 日本セラミックス協会 資源・環境関連材料部会

◎協力 公益財団法人 日本セラミックス協会 東海支部

◎場所 名古屋工業大学 4号館会議室3

◎主旨 資源、環境技術に関する研究成果の発信・議論、研究者の交流・情報共有を目的とし、討論会を開催しました。また特別講演では将来的な異分野連携、研究の多角化や研究者の交流の活性化を見据え、他分野で活躍される先生に話題を提供していただきました。例年、同時開催しています見学会は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止となりましたので、ご当地企画として瀬戸地域の窯業について講演を行っていただきました。

◎参加費 (講演要旨集、消費税込み)

一般	3,000円
学生	2,000円
意見交換会	中止

◎特徴

- ・若手研究者による発表・討論。
- ・あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター瀬戸窯業試験場 高橋直哉先生を講師にお招きし、「瀬戸地域の窯業と瀬戸窯業試験場の取り組み」について特別講演を実施。
- ・名古屋工業大学 吉田奈央子先生を講師にお招きし、「微生物燃料電池の都市下水廃水処理への導入をめざして」について特別講演を実施。
- ・部会役員を選考により最優秀奨励賞1件(杉江 紗矢香 様 名古屋工業大学)、優秀奨励賞1件(鈴木 亮磨 様 岡山大学)を表彰。対象者には賞状の授与。
- ・参加者数27名(講師2名含む)、一般講演12件

◎開催結果

本討論会はコロナ禍の影響により3年ぶりに現地での対面開催となった。参加者(27名)はオンライン開催となった前を下回る状況であったが、講演数(一般講演12件、特別講演2件)は例年並みとなった。いずれの講演も熱意にあふれており、対面開催ならではの緊張感の中、活発な質疑応答が行なわれた。

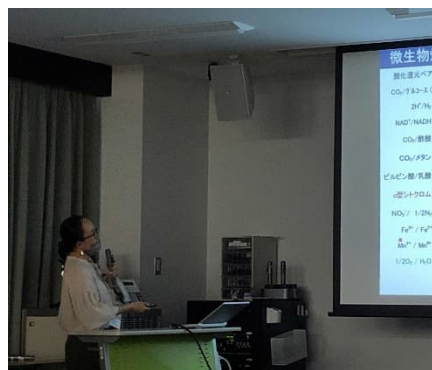
吉田先生による特別講演は下水処理の基礎から微生物燃料電池への展開、電極反応の重要性などについて説明された。セパレーターなどの部材としてセラミックスが貢献できる見込みであり、異分野連携につながるものと思われる。

高橋先生の特別講演では地域窯業である瀬戸焼の歴史と、ご所属の瀬戸窯業試験場の取り組みを中心にご説明があり、地域貢献の重要性を感じるものであった。近年では陶器・磁器の原料の安定的な確保が懸念されており、当部会で取り組むべき課題の1つになるものである。

多様化する環境問題において、将来を見据えた資源・環境技術にはますます異分野連携が重要になる。特別講演や見学会など継続的な取り組みを進め、セラミックス材料科学が協働できる部分を探索することで、当部会・部会関係者の更なる活性化につながるものと思う。



樽田部会長のご挨拶



吉田先生による特別講演



高橋先生による特別講演